



SAITAMA CHORAL NEWS パウゼ

Pause

第 53 号

2020 年 10 月 21 日



埼玉県合唱連盟

〒330-8557 さいたま市浦和区常盤4-12-13

(朝日新聞さいたま総局内)

TEL 048-824-8161

FAX 048-831-5310

<http://saicl.net/>

心豊かで活力ある埼玉づくり

新教育長 着任のあいさつ

埼玉県教育委員会教育長

埼玉県合唱連盟顧問

高田直芳

今年度、埼玉県教育委員会教育長に就任いたしました高田直芳と申します。また、このたびは埼玉県合唱連盟の顧問を仰せつかりました。本県の教育・文化行政に携わる者として、微力ながらも貴連盟に助力させていただく所存です。

貴連盟は、昭和32年の創設以来、合唱音楽の普及発展を図り、郷土埼玉の文化の向上に資するため、様々な活動を積極的に展開されております。関係者の皆様方の御尽力に、深く敬意を表します。

さて、今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、音楽の授業や部活動など、歌う機会が失われています。また、誠に残念ではありますが、本県で実施してきた数々の合唱のコンクールは、中止せざるを得ない状況になってしまいました。大会を目標に練習をされてきた方や大会の開催を楽しみにしていた方は、やりきれない思いをされているものと拝察しています。

特に、中学3年生と高校3年生の皆さんには、最上級生として部を牽引する立場です。後輩の面倒を見ながら、最後の合唱コンクールを目指して毎日必死に練習していたことを考えると、本当に残念です。

合唱活動は一人ではできません。仲間と心を一つにして作り上げるもので。学生生活の中で、クラスや部活動、サークルの仲間と一緒に互いの気持ち

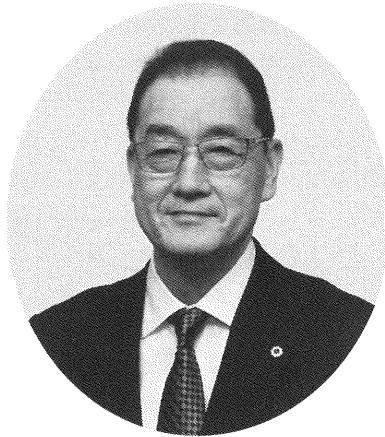
を思いやりながら、豊かな人間関係を築き上げます。そして、社会に対応する人間形成をする場としても相応しく、教育的にも意義深い活動です。

また、学生生活を終えても、県内各地にある合唱団やサークルの活動をとおして、生涯合唱を続けていくことはできます。貴連盟に加盟している皆様の活動は、生涯学べて楽しめる、そして、生きがいにもなる大変素晴らしい活動だと思います。

新型コロナウイルスの感染は収束の兆しが見えず、特に合唱、演劇活動など、芸術に携わる多くの方にとっては極めて厳しい状況が続いています。他方、文化芸術は人々の心に感動をもたらし、人生を豊かにするとともに、新たな創造や交流を生み出す力を持っています。

埼玉県教育委員会では、埼玉県教育振興基本計画を定め、各種の教育施策を推進しています。第3期計画では、「豊かな学びで 未来を拓く埼玉教育」を新たな基本理念に掲げました。この中で、「文化芸術の振興」を目標に掲げ県民の文化芸術活動の充実を図るとともに、文化芸術の力を活用し、心豊かで活力ある埼玉づくりに引き続き積極的に取り組んでまいります。

結びに、埼玉県合唱連盟の今後ますますの御発展を祈念申し上げ、挨拶といたします。





コロナ感染防止への対応につきまして

埼玉県合唱連盟理事長 小野瀬 照夫

埼玉県の合唱を愛する皆さん！ お元気でしょうか？

この度、猛威を振るった新型コロナウイルスの感染は急速に全世界的に広がってしまい、誰もが予想だにしなかったような事態となりました。その影響は様々な分野に及び、私たちが愛する合唱の世界にも容赦なく襲いかかってきました。

埼玉県合唱連盟として2月当初は「何とか工夫してやりきろう！」と意気込んでおりましたが、日ごとに状況が悪化し続けたため2月中旬に緊急会議を行い、「おかあさんコーラス大会延期」の検討をしたのを皮切りに、以後様々な検討を強いられてきました。

これは前例が無く規約にも定められていない内容であり、また「今後、このウイルス感染がどのようになるのか？収束できるのか？より増えてしまうのか？」が読めない中、「正しく恐れる」を心がけつつ先の事業について検討を重ねて参りました。

以後、おかあさんコーラス大会だけでなく、総会の書面表決をはじめ、合唱祭・ワークショップ・コンクールと、多くの事業を中止にせざるを得なくなりました。当連盟としては大変心苦しく、まさに苦渋の決断でした。その判断の拠りどころの一つとして、「たとえ当日ができそうでも、そもそも練習ができない。」「学校から・公民館から歌うことへの許可が出ない。」ということもありました。これは、当時政府から発せられた緊急事態宣言に定められていたことなので、致し方ないものでした。

そんな中でも、何か出来ることはないだろうか？ということで連盟理事から挙げられたアイデアが「リモート合唱&WEB合唱祭」でした。これに関する詳細は「リモート合唱&WEB合唱祭」の項（本誌5頁）で南常務理事からの説明が書かれると思っていますので、そちらをご覧ください。実は今年の年明けに、当連盟のスローガンとして「良い意味での『遊び上手』になろう！」を掲げておりました。遊び上手…合唱を通して大勢の人とつながり合い、響き合うことを様々な形で楽しめるよう工夫をしていくということです。今回のリモート合唱&WEB合唱祭でそのひとつができたのではないかと思います。

今後に控えている県連の事業（アンサンブルコンテスト・今年度のおかあさんコーラス大会）、全日本主催の事業（JCAユースクワイア）は是非とも開催できるよう、祈っております。

また、それに向けて全日本から示された感染拡大防止ガイドラインを県独自の状況に則して編集・作成致しました。できなきことを嘆いているのではなく、このガイドラインで「私たちはこのように工夫し、備えて活動します。」ということを内外に示し、施設を含めた周りの方々から合唱活動を認めてもらえるよう活用していただきたいと考えております。

今後とも県連の皆さま方のご支援、ご鞭撻を賜りながら合唱活動の歩武を進めて参る所存です。どうぞよろしくお願ひいたします。

前年度全国大会出場団体表彰

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により埼玉県合唱コンクールが中止となりました。本来ならば表彰式において前年度全国大会出場団体表彰を行うところでしたが叶わないとため、8月18日（火）に表彰の場を設け、授与いたしました（欠席団体へはお届けいたしました）。

【高等学校部門】

- ・埼玉県立松山女子高等学校音楽部
- ・星野高等学校音楽部
- ・埼玉県立浦和第一女子高等学校音楽部
- ・創明高等学校混声合唱団



県立浦和第一女子高校音楽部

【中学校部門】

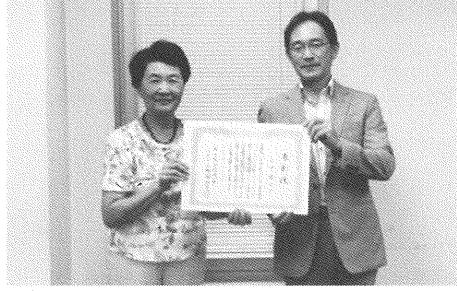
- ・さいたま市立宮原中学校女声合唱団

【小学校部門】

- ・朝霞市立朝霞第十小学校合唱団 うたの輪

【大学職場一般部門】

- ・La Mer



La Mer





緊急事態宣言下での合唱団の過ごし方

星野高等学校音楽部

星野高校顧問 佐々木 憲二

2月27日に「活動再開までの期間、各々が自宅でできることを考え行動し、辛抱強く待ちましょう」そう言って生徒達と別れてから3ヶ月、一度も生徒と会うことができませんでした。

今年度選んだ課題曲は「夜来香」です。「星の群生のような花」を見たい、そしてその香りを楽しみたいと考え、昨年末に石垣島から苗を取り寄せ、音楽室で育てていました。

その成長をメールで配信し、皆で再開・再会を待ちました。しかし、コンクールを含め全てのステージが中止となり、3年生は引退を余儀なくされてしまいました。そんな中、7月31日に花が咲きました。そして魅惑的な香りを放ちはじめたのです。本来なら、その香りに包まれながら合唱練習をするはずだった3年生にとっては、残酷な香りです。

この香りを嗅ぐたびに、生徒たちの悲しみや、悔しさを思い出すことでしょう。

現在は、全日本合唱連盟よりお示しいただきました「合唱活動における新型コロナウイルス感染予防拡大防止のガイドライン」に沿って7月27日より1.2年生のみで活動を再開しております。



手作りの合唱マスクで

コーラル・ソシア
ソプラノパートリーダー
千野 千津

西武学園文理高等学校合唱部

部長 佐藤 美咲希

私たち西武文理高校合唱部では、各自が家で自分のパートを録音して先輩に提出し、アドバイスをもらうという形を取っていました。それをもとに歌い直して録音を再提出するという練習をしていました。

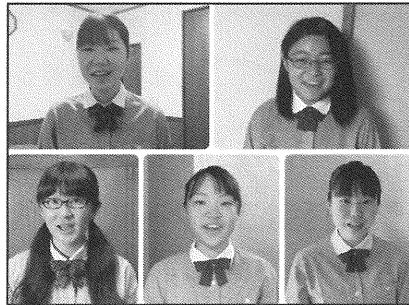
ですが、合わせをすることができず、どうにか合わせられないかと部員みんなの録音をパソコンで編集して重ねてみました。

すると、みんな一緒にいるかのようにハーモニーができる、久しぶりに「合唱」をつくることができました。

それからは在宅部活と称して、それぞれのパートがそれぞれの家で録音・録画をして、パソコンでひとつの合唱にするという活動をメインに行いました。

部活のYouTubeにUPしたところ、たくさんの反響をいただき、新聞、テレビ、ラジオなどにも出演させていただきました。

困難な状況ではありましたが、諦めずに工夫することで部員も一歩成長できたのではないかと思います。今後は感染に気をつけながら音楽室での声合わせを頑張っていきたいと思います。



リモート合唱の様子



コロナ禍で数々のことが奪われたのは、コーラスおばさんたちもある。

3月、三密を避けるため練習時間をパートごとに三分割して活動。4月、緊急事態宣言により公民館等は閉鎖され、リモート練習に挑戦。文明の利器に感謝だが、在宅家族への遠慮やハモれないジレンマも。しかし発声の確認や細部指導に役立った。その後も家の片隅でリモート継続。世間を伺ながら6月末に集まっての練習再開を決意。感染防止指導を厳守し、団員は半分ずつにしての時短練習。各々が歌い易く工夫した手作りの合唱マスクを着け、声を合わせられる歓びに浸った。8月は広い場所を借りることができ、時短のままだが全員揃っての練習が叶っている。

在宅家族の世話に明け暮れた日々や新しい生活様式とやらの中で『歌を忘れたおばさん』にならずにいられたのは、私達にとって合唱がどれだけ心の拠り所であったか気付き諦めなかつたこと、そして先生の熱意。この経験が今後おばさんたちの長~い人生に反映されることを望んでいる。



リモート合唱企画及びWEB合唱祭について

～心に炎を持ち続けたい～

リモート合唱「翼をください」と埼玉県WEB合唱祭

合唱練習が出来ない状況が続く 4 月始め、テレビで高嶋ちさ子さんのテレワーク動画を観ました。これ、合唱で出来る、全国区で出来る、指揮は小野瀬理事長、ピアノは持田理事、ここまで瞬時に思いつきました。これが始まりです。まさに動画制作のことなど何も知らない素人の浅はかさ怖いもの知らず。でももう頭の中には「家で歌うのはひとりぼっちだけど、出来上がった動画を観たらみんなが隣で歌ってる。みんなと繋がれる。」と夢が広がっていました。そこから予算 0 円企画のスタートです。有能な南方理事、私に go or not の判断をくれる宮野参与、信頼する事務方森川さん関根さんという仲間を得ました。

まず指揮とピアノの基準動画作り。それをどの範囲でどのツールを使って拡散するか、参加者に動画をどのように連盟に送ってもらうか、参加者への対応等を決めて要項も作成しました。

次に音取り音源作り。理事たちが協力してくれました。その時も動画を送付出来ないとか、基準動画を観ないで歌ったとか、雑音がすごいとか。やってみると大変です。

参加者の動画は連盟で新たに設けた LINE、Firestorage を使ったメールの 2 通りで募集しました。

そして朝日新聞社さんのご協力も得て、埼玉県・千葉県・東京都・新潟県・石川県・和歌山県・京都府から 182 本の動画・音声が集まりました。音声は南方理事、個々の動画のタイミングとデータのサイズ合わせを宮野参与と私。HP、YouTube 等は事務方。そして最終編集者として宮坂さんに加わっていただき、埼玉県合唱連盟リモート合唱「翼をください」の動画が出来上りました。

「N コンもコンクールも中止の中、家族で歌える機会に感謝です。子供たちに笑顔が戻りました。」

「動画は撮れなかったけど、何回も観ました。180人のエネルギーがすごいですね。」

「それでも負けないという生きる力を感じます。涙が出ます。」

「動画をとるために携帯を買い換えました。」等嬉しいお言葉もいただきました。

本当に作業は満載でキリがなく、そのノウハウもない。1 ミリ進むとまた目の前に壁、頭を抱える事を何度も繰り返し、その度 ZOOM 会議を開き一つ一つ進めていきました。会議中、南方理事が「まさにリモートワークですねえ」と。本当にそうです。でも楽しかった！人の温かい心が繋がった時の力、底から湧いてくる様なエネルギーを目の当たりにさせていただきました。

そしてもう一つの企画は埼玉県WEB合唱祭です。

たくさんの企画、演奏会が中止の今、何か発表の場を作りたいと YouTube での合唱祭を考えました。これは宮野参与のアイディアです。

これもノウハウが無く一から作りました。この企画も 0 円です。

まず作ったのは要項。そして初心者用 YouTube アップの仕方。難関だったのは著作権肖像権等のチェックシートです。細かい作業でしたが公に通用するものでなくてはいけません。あちこち確認し作り上げました。

今も期限なくリンクを募集しております。どうぞ連盟 HP よりたくさんの団の演奏をお楽しみください。「翼をください」も一緒に観られます。

合唱は、人が集まって時間と空気を共有し音を浮かせていくものです。今は厳しい。でも離れてはいけません。その炎は自分の心の文化です。そして支え、支えられている仲間は生涯の生きる糧になるでしょう。この状況に負けないで、炎を持ち続けましょう。人のつながりは涙が出るくらい温かいものだから。

(常務理事 南めぐみ)

★★★★★ 第66回埼玉県合唱祭について ★★★★★

開催出来ることを信じて準備をしています。

例年、初日と 2 日目は埼玉会館ですが、来年度の合唱祭 2 日目は「さいたま芸術劇場音楽ホール」です。こちらは小規模団体用となりますので、人数の多い団体は他の日をお選びください。また、5 日目熊谷での開催日が「土曜日」となりますので、ご注意ください。

令和 3 年 6 月 5 日(土) 埼玉会館大ホール

6 日(日) さいたま芸術劇場音楽ホール(人数制限あり)

12 日(土) さいたま市文化センター大ホール

13 日(日) "

19 日(土) 熊谷文化創造館さくらめいと太陽のホール





♪ あ り が と う ♪

理事長時代の田尻先生

埼玉県合唱連盟副理事長 浅井 一郎

長く埼玉県合唱連盟の発展に寄与された顧問の田尻明規先生は、本年3月20日ご逝去されました。享年83歳でした。謹んでご冥福をお祈りいたします。

埼玉県合唱連盟の設立は昭和32（1957）年ですが、田尻先生は設立7年目の昭和39年度、県立大宮高校勤務、28歳の頃より役員として連盟に関わられておられました。

理事長としては、初代尾花勇先生が30年近く理事長を勤められたあと、第二代理事長として昭和62（1987）年4月から3期6年間お世話になりました。

より一層フットワークよく連盟を運営するために理事の若返りを進め、それまでなかった理事の定年制を始めた、1期目の理事長となりました。定年制実施の際には定例総会の日には調整がつかず、後日臨時総会が開催され新体制がスタートしたこと、懐かしく思い出されます。

また田尻先生は温厚な性格であり、同年代や若い理事の声を吸い上げながら、新規事業の立ち上げや事業の拡充を図りました。主に田尻新理事長を支えたのは、小高秀一副理事長（後の第三代理事長）、村田充副理事長、宮寺勇事務局長（後の第四代理事長）のメンバーでした。それまであった合唱祭、講習会、コンクール、おかあさんコーラス大会に加え、平成2（1990）年1月には第1回ヴォーカルアンサンブルコンテストを、同年8月には第1回おとうさんコーラス大会（現男声コーラスフェスティバル）

を新規に開催しました。事業数やそれぞれの開催日数も増えて来たため、各事業の小委員会を開催し会議の

効率化を図りました。また、円滑な運営のための内規作りも行いました。

一方、加盟団体数の増加に伴い事務量が増えたことに対応するため、事務局の充実を図り、事務主事に小池栄子さんを迎へ、多くの事業を支える礎を築かれました。また、浦和第一女子高等学校の音楽準備室に間借りしていた事務局を、朝日新聞浦和支局（現さいたま総局）の格別なご配慮のもと、局内に事務局を置かせていただき、理事会等様々な会議の開催も行えるようになりました。

田尻先生は自らもより高いレベルの音楽を追求し、理事長の職に就いている間も、浦和第一女子高等学校音楽部の顧問として全日本合唱コンクール全国大会出場をはじめ、OG合唱団の設立や多数の合唱団の指導を行っていました。音楽的にもお人柄も私たちの尊敬するリーダーとして、埼玉県合唱連盟の更なる発展に貢献された、大先輩であられました。田尻先生からたくさんの教えを受けた私たちが、埼玉県合唱連盟の益々の充実、そして発展を遂げられるよう進んで参ります。

田尻先生、これからも私たちを見守り、そしてお導きください。





田尻明規先生

合唱指導者としての田尻先生

埼玉第九合唱団顧問 田尻明規先生を偲んで

副団長 三村 隆男

田尻明規先生は、埼玉第九合唱団の初代合唱指揮者として1973年より10年間ご指導をいただき、合唱団の基礎をおつくりいただきました。

先生との最も印象の強いできごとは、1980年のモーツアルト「レクイエム」の演奏会です。

当団が自力でプロのオーケストラと契約した初めての演奏会でした。当時の団役員で前団長の新祖章様をはじめ多くの団員が最大限の努力を払い、極度の緊張で演奏会を迎えました。それを先生が全力で受け止め、成功に導いてくださったのです。埼玉第九合唱団の歴史に残る演奏会でした。

指揮者を退いたのちも、プログラムには激励の言葉を載せていただき、演奏会には足をお運びいただき、いつも私たちを温かく見守ってくださいました。

葬儀の際に流れていた曲もモーツアルト「レクイエム」でした。田尻明規先生、安らかにお眠りください。



埼玉第九合唱団
結団式

田尻先生の思い出

Chœur Vent Vert 団長 皆川 裕紀

浦和第一女子高等学校音楽部で田尻先生のご指導を受けた私たちが、「もっと歌いたい」という想いを女声合唱団「Chœur Vent Vert -クール・ヴァン・ヴェール-」という形にできたのは、本当に田尻先生あってこそでした。1985年の春です。発足当時はメンバーが大学生で練習に集まる人数も不安定な中、田尻先生は毎回きちんと練習時間にお姿を現し、音とりから付き合ってくださいって、どんなに人数が少ない雪の日でも、辛抱強く私たちをご指導くださいました。先生のあの熱意がなかったら、私たちは今まで歌い続けてはられなかっただと思っていました。結成以来、コンクールやコンテスト、演奏会、様々な舞台を経験できたのも田尻先生のおかげです。オーストリアのウィーンで歌うことなど夢にも思っていなかったことでした。一般合唱団として田尻先生と一緒に全国のあちらこちらへ出かけたのも楽しい思い出です。夏におこなっていた合宿では、写真がご趣味でいらっしゃった先生自ら、いつも集合写真を撮ってくださいました。

2006年には、田尻先生がご指導なさっていた7つの合唱団が集まって「あきの会」という演奏会を開催しました。埼玉県内の「コラスせきれい」、「ピアチエーレ」、女声合唱団「彩花」の方々と一緒に作り上げた楽しい会でした。先生はお年のことを言われるのは、ちょっと嫌がっておられましたが、先生の古稀を記念する会もありました。この時に、信長貴富先生に作曲をお願いし、「女声合唱とピアノのための『蒼ざめた薔薇』」を初演したのも思い出深いことでした。ご指導に見えた信長先生と語らっていた田尻先生の楽しそうなお顔が目に浮かびます。

私たちにとって、田尻先生とともに過ごした時間は本当にかけがえのないものです。研究熱心でいらっしゃった先生は、古今東西の様々な曲を私たちに教えてくださいました。ご指導なさっていたどの団体でも新しいことに挑戦なさる姿勢をお持ちだったように思います。ピアニストとしても素晴らしい先生は、曲の中の良いハイモニーにぶつかると「この音が良いんだよね」と楽しそうに繰り返していました。そのお言葉から、私たちは音の繊細さを学んだ気がします。先生のご指導のもと音楽を作る時間を持ち続けられたことは、私たちにとって本当に幸せなことでした。先生にご指導いただいた多くの仲間を代表してお礼を申し上げます。田尻先生、今まで本当にありがとうございました。



「あきの会」



Chœur Vent Vert (2017 県大会)



連盟歌制作秘話

埼玉県合唱連盟の歌『太陽のように』誕生

～みんなで楽しく～

「はじめに埼玉県合唱連盟の歌《太陽のように》を歌いましょう。指揮は…」。

埼玉県合唱祭や各行事のスタートを飾る全員合唱の前に必ず聞かれるアナウンスです。

今は当たり前のように存在している「連盟歌」。でもその誕生に関する秘話を知る人は少ないようです。各行事が中止・延期となっている今年、今こそ掘り下げてみたい！その一念で古い資料を調べてみました。

《連盟歌・歌詞の募集》

埼玉県合唱連盟25周年を記念して連盟歌を作ろうとの気運が高まりました。コンセプトはみんなで楽しく歌える「連盟の歌」を自分たちで作ろう！まず歌詞の募集から始まりました。形式は自由、みんなで楽しく歌えるような詞、タイトルは自由、埼玉県合唱連盟関係者のみ、入選作には作詞家によって補作されることがある。このような募集要綱が示され広く募集が行われました。締め切りは昭和57年6月30日。東北新幹線（大宮駅を暫定始発）が開業した一週間後の日付です。

《歌詞応募作品と審査》

15作品が集まりました。タイトルの付いた作品は9作品、歌詞は2番までが1作品、3番までが11作品、4番までが3作品でした。最終審査に残った4作品からさらに審査を重ね、グリーンエコー狭山の堀田（ほりた）みち子さんの「太陽のように」が入選作に決まりました。堀田さんは現在合唱から離れ各方面のボランティアで忙しく活動しています。「太陽のように」のネーミングは教会や病院などのボランティアを通して「気持ちの中に突然思いついた」と語っていました。歌詞の補作を担当された審査員の宮澤章二先生のコメントが残っています。「1番、2番、3番という歌唱性を捨てA・B・Aの形式をとった。歌に関係の無い団体であれば1番、2番、3番が歌いやすいでしょうけれど、いやしくも歌が専門の合唱連盟である以上、曲も、合唱曲として楽しい作品になり得るような詩であるほうが良い、と考慮した」との言葉が示すように、今回の連盟歌のコンセプト・みんなで楽しく

歌える連盟歌の意図を的確に汲んで選出されたのです。

《作曲の募集》

次は作曲募集です。「歌詞入選作品」の決定を受け、同年8月20日に作曲募集の要項が発送されました。形式は自由、メロディーだけでも構わないのでみんなで楽しく歌えるような曲を。ここでも一貫したコンセプトが生きています。伴奏譜は要らないからメロディーだけでも！すそ野広く作品を募りたいという合唱連盟の気持ちが表れています。

応募4作品の中から当時与野市に住む29歳の作曲家：鈴木憲夫先生の女声三部合唱用作品が採用されました（10月27日）。その後混声合唱用に編曲されたのが3年後です。

鈴木憲夫先生手書きの応募楽譜

鈴木先生は当時を振り返りこう語っています。友人・知人もほとんどなかった時代「太陽のように」をきっかけとして合唱関係の方々、宮澤章二先生と面識を得ることが出来たのは嬉しい出来事でした。自分の女声作品のほとんどを歌ってくれていた「よのコーラス」（指揮大沼宇宙先生）とのお付き合いにより、作曲募集のことを知りました。連盟の行事の度に歌い継がれているのは大きな喜びです。

38年前の埼玉県合唱連盟が大切にしていた「みんなで楽しく」という願い、これは今でも脈々と受け継がれている精神であると取材を通して感じました。

今後も「太陽のように」は私たち埼玉県合唱人の精神的支柱として皆様に歌い続けていただければ幸いです。

（理事 浅子 元）



埼玉・芸術家シリーズ

「枯れ野から出発して また枯れ野に帰る」**—宮澤章二物語—**

明治から現在まで152年の月日が流れた。その真ん中（1919～2005）を生き抜き、埼玉をこよなく愛した詩人 宮澤章二とはどの様な人であったのか、埼玉県合唱連盟歌「太陽のように」の補作や「ジングルベル」の作詞として知られ、純粋詩人としてだけでなく、童謡、歌謡、合唱、校歌、の作詞もたくさんある。彼についていくつか資料を読んでみた。

はじめに浮かんだのが「昭和の頑固親父」。「巨人の星」の星一徹のような「ちゃぶ台返し」こそ資料からは読み取れなかつたが、なかなかの頑固ぶりである。食事は黙って戴くもの。怒鳴り声は向こう三軒まで響きわたり、家族だけでなく家に遊びに来ていた他人の子供にも説教する。お酒は一滴も飲めないが、ヘビースモーカー。そして医者嫌い。

頑固親父ゆえに仕事に対する信念があった。家族に見せない仕事への思い、プライドがあった。妥協を許さない姿勢は、多くの人に感動を与えた。

自分の仕事ぶりを表した言葉がある。

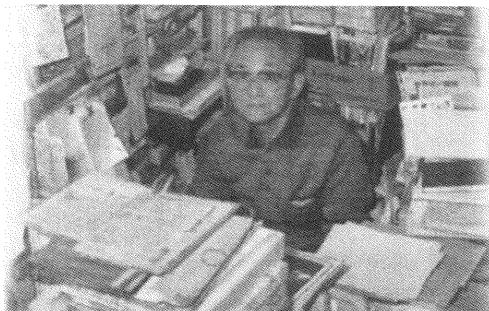
「不完全な作品を出さないのがプロの条件。断じて、出来不出来があつてはならない。」

作詞家として、昭和26年～37年までNHKの「ラジオ歌謡」の作詞、放送台本等の執筆活動をしていた。この仕事をするきっかけは、「たなばた」を作曲した下總院一の紹介であった。二人の縁はいくつかある。

戦時中、下總院一が加須の実家に荷物だけを疎開させた時、実家に入りきらなかった荷物を、羽生にあつた宮澤章二の実家の倉庫に預けることになったことや、終戦間近、敵国の歌を卒業式に歌うことを文部省が禁止、代わりに「花かおる」という卒業の歌が国民学校で昭和19、20年の2年間だけ歌われた。その作詞が宮澤章二、作曲は下總院一だった。宮澤章二は、この後、NHKの仕事を機に埼玉県立不動ヶ岡高校国

語教諭を辞め、本格的に文筆業に専念することになった。

昭和56年、NHK
全国学校音



仕事部屋での宮澤章二

楽コンクールがラジオからテレビ放送に変わった年に、小学校の部で宮澤章二作詞の合唱曲「東北の讃歌」より「南部うまっこ唄」が1位、「駿河のうた」より「空と樹海と湖と」～富士山のうた～が2位という嬉しい出来事があった。

校歌の作詞は全国で300あまり、埼玉県内で200あまり、「あまり」というのには訳があり正確な記録が残っていない。現在編集中。皆さんの母校の校歌の作詞にもう一度注目です。私が現在勤務している小学校の校歌は、今から約40年前の昭和56年に宮澤章二が書いている。あの嬉しい出来事があった年です。

彼は校歌を作詞するにあたり、その仕事ぶりをこう語っている。

「安易なパターン化した校歌表現は自分自身が許さない。」

「私の作詞姿勢は、（～中略～）必ずその学校に出かけ、学校の内外をこの目で確かめて、発想の糸口にする。」

「校歌といえども、詩であって、単なる言葉の羅列ではない。」

どこまでも真面目で妥協を許さない仕事ぶりである。

詩人として、埼玉が生んだ「風と光の詩人」と讃えられ、三好達治、芭蕉を尊敬し、カミ、ホトケが好きで、心の中の遊び友だちだと言っていた。自分の純粋詩について「私の詩情は枯れ野から出発して、また枯れ野に帰るようです。」と語っている。自由詩の作品に「枯野抄」がある。芭蕉つながりで芥川龍之介の「枯野抄」を思い出した。

浦和駅西口ロータリーに埼玉三大偉人といっしょに宮澤章二作「埼玉の譜」の歌碑がある。是非一度立ち止まって詩を読んでほしい。

中学生のために書いた「行為の意味」。あの有名な「確かに〔こころ〕はだれにもみえない けれど〔こころづかい〕は見えるのだ」の全篇を読んでみた。「永遠に青春」の私は、とても励まされた。

(理事 三森 敏)



資料提供 宮澤新樹（作詞家・元大宮区長）
参考文献 「行為の意味」



「たまりん♪」の紹介 ～ポスト、コバトン!!～

みなさまは「たまりん♪」をご存知でしょうか？

「たまりん♪」は埼玉県合唱連盟創立60周年を記念して誕生した埼玉県合唱連盟のオリジナルキャラクターです。埼玉の名前の由来でもある「勾玉」をベースに、県花「桜草」などを盛り込んでデザインされています。連盟行事の様々なシーンで使われているのですが、残念ながらまだあまり知られていません。

そこで「たまりん♪」にバリエーションを加えて、みなさまに広く知っていただき視覚的にも楽しんでいただけたらなと思い誕生させたのが通称「パパりん♪」と「ママりん♪」です。



「パパりん♪」は彩の国男声コーラスフェスティバルを担当し、その特徴はお髭にシルクハット、タキシードを着用した紳士なスタイルで男フェスでは賞状と、特別賞で贈られたクリアファイルに使いました。

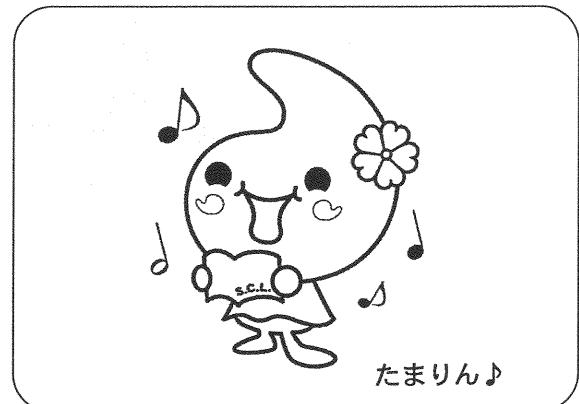


「ママりん♪」はおかあさんコーラス大会を担当し、おかあさんコーラスの華やかさをイメージしたピンクのドレスを着用しています。残念ながら今年のおかあさんコーラス大会は新型コロナウイルスの影響で中止となってしまいお披露目することが出来ませんでしたが、これからは様々なシーンで使っていきたいと思います。

コロナ禍で思うような合唱活動が出来ない日が続いているが、少しでもみなさまが明るく楽しい気持ちになれるよう、たまりん達も奮闘してくれることでしょう。

またグッズ等を制作しましたので、持つていただくことによって、合唱連盟をより身近に感じていただくなればなと思います。

知名度目標としましては、まずは「目指せ、コバトン！」ですね笑。
(理事 松川 大)



～～～賛助会員募集のお知らせ～～～

本年度、新しく「埼玉県合唱連盟賛助会員制度」を創設させていただきました。本連盟の活動方針に賛同し、活動を援助していただく方を広く求めていきます。

これは年度単位となっており、現在本年度（令和2年度）会員の募集集中です。詳細は埼玉県合唱連盟ホームページをご覧ください。
皆様のご協力をお願いいたします。





Tact vol.30

指揮者 田 尻 桂

子供の頃から私の周りには常に音楽がありました。父が弾くピアノや母が教える生徒さんのピアノ、ラジオやステレオから流れるクラシック音楽、物心ついた時にはピアノを弾いていました。今、音楽を生業としているのは、そのような環境に育ったことと、音楽家としての父の姿が大きく影響を与えてくれたのでしょう。高校での合唱との出会いも欠かすことのできない要因です。

音楽を指揮することに興味を持ったのは大学時代でした。オーケストラの授業の見学や、指揮科の学生との交流をきっかけに自分も指揮を勉強してみたり、指揮を副科として受講し、指揮の何たるかを技術とともに学びました。指揮の勉強はピアノ音楽を中心だった自身の音楽観に大きな幅の広がりを生み出しました。指揮への熱い情熱を持った、暖かい人柄の師匠に師事できることも幸運でした。副科といつてもレッスンの内容は専攻と同じで、実技試験の際には見知った著名な指

揮者達が審査席にすらり。一種独特な緊張感は忘れることができません。

近年プロのオーケストラを指揮する機会に恵まれるようになって、目指すべき指揮者像について試行錯誤する機会も増えました。演奏は全ての楽団員と共に作り上げるもの。様々な音色と音楽性が混ざり合って新しい何かが生まれる。楽団員同士もアンサンブルを通じて主張と協調を繰り返している。ならば指揮者は音楽作りを一方的に押し付けるのではなく、すべての楽団員が自身の持つ音色と音楽性をフルに發揮して、周囲と感覚を共有しながら気持ちよく演奏できるよう方向性を示すことが大切なのではないか、と。

合唱を愛好する方々も、多くは指揮者のもとに合唱活動を行っていると思います。歌う側も声という楽器の音色を磨き、自分の音楽を出し切り、アンサンブルする仲間との息遣いを感じ合って、そこに生まれる唯一のハーモニーと音楽を楽しんでいただきたいと思います。そして何よりも心置きなく合唱を楽しむことのできる日常が一日も早く戻りますように。

それぞれの周年記念

70周年

浦和フルーコーラス
代表 村田 治子

皆様こんにちは、私たち浦和フルーコーラスは、今年創立70周年を迎えました。一言で70年と申しますが、すばらしいことと自負しております。1950年、まだ世の中が落ち着かない時分、先輩お母さん方が“子供の教育のために音楽を身に付けたい、それには大勢で楽しめる合唱を”ということで誕生しました。その長い歴史の中で今日まで、世代交代を重ね、そして山あり谷あり、を越え歌い続けてまいりました。これも根気よく丁寧に指導してくださった先生、家族の支えがあってのことと感謝しております。歌の力ってすごいですね。落ち込んだ時は心を癒し元気を、楽しい時はさらにHappyに、また友との語らいもホッとする時間です。私達はおかあさんコーラス、埼玉県合唱祭、合唱コンクール、SVEC等に参加することで少しでもレベルアップをしたいと願い、日々練習に励んでおります。今年は新型コロナウイルスの流行で3月からお休みとなりましたが、早く通常の練習が出来るようになり、75、80周年へと歌い続けていけたら幸いです。





♪私たちの場所

Stage

創立高等学校混声合唱団

部長 菊池凜果

こんにちは、創立高等学校混声合唱団です。私達は現在、女子42名、男子31名の計73名で活動しています。混声として創立し5年、今までにコンクールや校内行事、小・中学校の招待演奏、各地域イベントなど参加させていただきました。主に週6回活動しています。その中で欠かさず行っていることが「基礎練習」です。音階・和音練習など地道な練習ではありますですが、常に初心にかえり、一から見直すということを大切にしています。

様々な活動を通して、合唱からは沢山の刺激をもらっています。沢山の人との輪、大きな感動。日々、歌うことに喜びを感じています。

まだまだ歴史は浅いですが、今後も素晴らしい演奏を届けられるよう、努力していきたいと思います。

Prima Do.

代表 内田裕子

高校の音楽部の仲間で活動を始めて5年になります。毎月第1日曜日に練習をしていたことからイタリア語でprima domenica(最初の日曜日)と、音階のDo(ドレミのド)という意味からPrima Do.と名付けました。指導者も伴奏者も同じ仲間という合唱団で、和気あいあいと時には厳しく音楽について語り合い、合唱を楽しんでいます。主に高校時代の地元、東松山市で活動していますが、団員は埼玉県内各地だけでなく都内など遠方からも月2回の活動を楽しみに集まっています。今年は、念願の演奏会を予定しておりましたが、残念ながら練習の自粛のため、演奏会も延期せざるを得なくなりました。1日も早く練習が再開できることを願っています。

白百合コーラス

指揮者 永井基生

白百合コーラスは、上尾市立東小学校のPTAコーラスとしてスタートし、2010年5月に正式に発足したグループです。週1回土曜日の夜に活動しています。特徴は、何と言っても年齢構成です。現在、小学生、中学生、高校生、大学生、社会人までの幅広い年齢層(約40歳差)で活動しており、親子の団員もいます。まさに生涯学習です。

目指していることは、様々な世代が集まても同じ響きで歌うことです。年齢を重ねても声が揺れたり、芯のない声になったりしないことを目指しています。

8月現在、コロナのため、活動を休止しています。Zoomを使用して、オンラインで、顔合わせと音取りをしています。早くみんなで歌える日が来ることを願っています。

混声合唱団ゼンガークライス

団長 森松寿夫

ゼンガークライスは、(ドイツ語で歌う仲間の輪を意味します)1967年結成の県北第九合唱団を母体として、1997年に現在の団名になりました。(何と50年以上の歴史が)練習日は週1回ですが、クラシックからポピュラー、オペラまで幅広く演奏します。いろいろな年齢層の方に楽しんでいただぐために。定期演奏会は数年おきの開催ペースですが、昨年11月に5回目の指揮者の記念コンサートを開催しました。その他熊谷市主催の慰靈祭などにも協力しています。団員の高年齢化に伴って体力・記憶力が減退する中で演奏会までの道程は、きつくなる一方です。(登山の如し)でも演奏後の爽快感は格別で、また次の山に挑戦したくなります。コロナ禍で4ヶ月間活動を休止。7月からの再開ですが、継続することで新型コロナに負けないで頑張ります。

埼玉県合唱連盟公式

Twitter

Facebook



編	集
後	記

Pause53号をお届けいたします。3月にご逝去された元理事長・田尻明規先生の回想と、コロナ禍の中各種行事が中止となつても、この時期だからこそ編集できる内容を厳選しお届けします。今後も皆様の豊かな合唱ライフをお手伝いします。

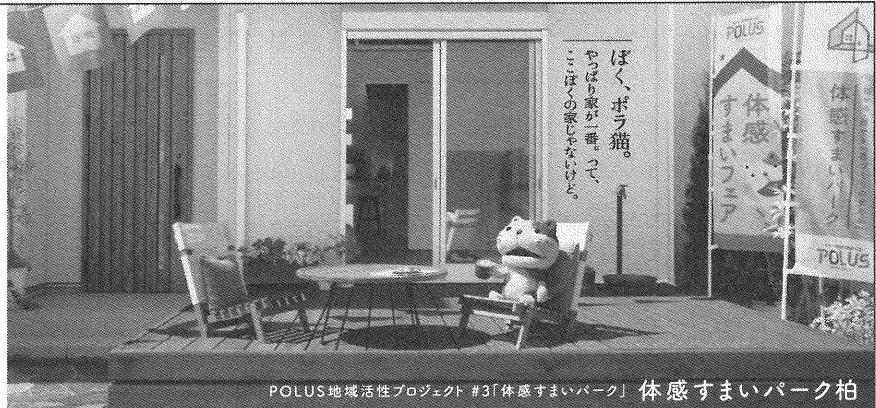
(理事 浅子 元)

ついつい寄りたくなる、
おうちがあります。

住まい価値創造企業
POLUS
ポラスグループ

分譲住宅 | 注文住宅 | 仲介 | リフォーム | 賃貸

POLUS株式会社 埼玉県越谷市南越谷1-21-2 TEL048-989-9119
(宅建業 国土交通大臣(12)第2401号(株)中央住宅)



POLUS地域活性プロジェクト #3「体感すまいパーク」体感すまいパーク柏